

新居浜校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時	平成21年8月7日(金) 19:00~21:00		
場 所	新居浜公民館		
参加者数	男 34 人	女 31 人	合計 65 人



○これからの10年のまちづくりに向けての提言

- ① 提言内容：JR貨物駅の移転計画の推進について
- ② 提言内容：*軽い運動とコミュニケーションのできる小広場の造成
*若者が定住できる施策の推進
- ③ 提言内容：古布の収集によるごみ減量について
- ④ 提言内容：学校給食の問題について
- ⑤ 提言内容：体育施設の整備、スポーツ選手の市外流出防止について

● 過去の主要な地域課題「国領川河川敷の問題について」の状況について

○質問

昨年来、河川敷の整備については提案がなされ、整備の進行が図られていると聞いている。ただいま市長さんから河川敷の整備について、詳しくご説明いただいた。そこで河川敷の進入路について質問したい。高齢者という立場で河川敷を見た場合に、現在河川敷にはクロッカー等、高齢者が運動できる所が4箇所ある。城下橋、テニスコートの所、敷島橋、新高橋の所である。特にテニスコートの所の進入路を見た場合、高齢者は勿論、元気な人でも降りる場合に傾斜が急であり上がった所が狭い。この進入路の傾斜を緩くして広くできないか。それから城下橋の所だが、南から来る人は橋の下を通過して来るそうである。実際にそこを通過してみると、進入路とは言えない、危険さえ感じた。今の整備計画の中に入っているのであれば、一度確認していただいて検討していただきたい。

○回答者（市長）

ご意見ありがとうございました。確かにテニスコートに入る所は、河川敷を歩いて、また自転車で利用することを考えると、あの坂の角度は厳しいと思う。それと進入路自体が非常に狭くて分かりにくいということで、まだ形にはなっておりませんが、進入路自体の改修ができないかという話はしている。河川敷全体の整備ということの話はしましたが、進入路の勾配があるものをどうしたらいいのかということについては、すぐに答えがない所もありますが、実際に歩いて、自転車で利用することも十分考えた河川敷にしなければならないと考えている。現場は確認させていただきます。

1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（ 環境美化 ）

討議内容

○質問

ごみの収集日について、新須賀の二丁目・三丁目と一丁目・四丁目が違う。そのためごみカレンダーをお願いしている。ごみステーションが一丁目と二丁目の間にあれば、一丁目の人は違う日に出すなどの不具合が発生するのではないかと思う。そういうことから、今後できるのであれば、新須賀は全部一緒という形にしてほしいと思うが如何か。

○回答者（環境部長）

収集に回る時間が早かったり、長くかかったりする所があるが、相当期間地区替えをしていない。そういう中で、市全体のバランスを良くするために、今回地区替えをさせていただいた。皆さんにはご迷惑をかけることにはなるが、今回の地区替えを試させていただき、その中で不具合な地点があれば検討させていただきたい。今回はこの収集方法でお願いしたい。

2. 校区設定市政課題

課題名（ 中心商店街衰退に対する対策について ）

○質問

第四次長期総合計画の中では、中心市街地について、昭和通り及び登り道の整備推進について必要性を述べている。しかしながら、現状は、いろいろな事情により、昭和通り、登り道ともに空き店舗が増え衰退している。市としてもどうにもならないのではないかと考えているが、このことについて数点お伺いしたい。

- (1) この現状に対して、行政としてどのような対策を考えているのか。
- (2) 以前から協議会などがあったと思うが、形として現れていない。活性化対策などについてはどういうふうになっているのか。また、その他ですが、商店街の活性化につながる事として、10月から日曜市をアーケードですということをお聞きします。
- (3) 登り道のアーケードについては多額の借金が残っている状況である。閉店する商店も増え、メンテナンスにかかる費用も減りつつあると伺っているが、最終的にアーケード撤去という事態になった場合、残った少数の会員では負担しきれないのではないかと考えており、県・市の負担による撤去ということにもなりかねない。このことについて、市としてどのように考えているのかお伺いしたい。

○回答者（市長）

これまでも商店街、あるいは工業もそうだが、市や行政は区画整理などをしたりで、商店街ではどういうふうな受け皿の整備があるかということについては、商店には商店の皆さんが中心となりやっていたらいい。したがって補助という形でアーケードの改修をするとか、街路灯などを対象として支援していきたい。市の事業としてというか、市の音頭で行ったのは、はまさいを行うまでの地域活性化のアドバイザーを呼ぶということについては市で行っていた、今は自立型になっています。それと日曜市については、文化センター前では第一・第三日曜日に行っているが、それ以外の第二・第四の日曜日に、登り道商店街で日曜市を始めるということで、市としても補助金で助成をするよう準備をしている。夏まつりについても同様の対応で、賑いをもたらししていきたいと思っています。

アーケードの撤去については、壊すだけでは補助金は出ない。やはり造ることで何かが生まれてくるということが補助の基本ですので、現時点では、単にアーケード撤去ということのみでは助成の対象にならないと思う。全国的にはそういう例がたくさん出てきており、中小商業活力向上事業の中では、アーケードを撤去することで良くなる、イメージアップであったり、安全確保など、アーケードを撤去してこういうことを行うということが認められれば、助成も可能である制度が設けられている。壊すだけでは理由にならないが、撤去したことによりこんなことができる、良い面が出てくるというような理屈である。こういう制度について地元商店街に情報提供を行っていききたいと思っている。

○質問

市は駅前に力を入れているが、既存の商店については見てのとおりである。このことに関して積極的なことは何もしていないし、商店の方も、後継者がいない、高齢であり新しいことの取り組みもできないなどで尻すぼみの状況である。昭七の商店もだいぶ閉めている、また閉めつつある。それと先般のガスの影響でイメージも良くないし、菊本沖のごみ埋立処分地と工業団地に引っ付いたような商店での賑わいしかないのだが、地域には市営球場があり、そこで交流試合などもあるが、もう少し市営球場を活用する方法はないのか。

また市営球場の前には公園もあるが、川西地区には中央公園を除いて緑のある公園はないと思うし、南側の所も活用されていない。ここをもう少し活かせるように考えていかなければいけないのではないかと思う。先般、都市計画課の方にも伺ったが、その辺は積極的に活用する意思はないとの担当者の感じがしたのだが、それでは駄目だと思うので、何か良い案がないのか考えていただきたい。

○回答者（市長）

商店街そのものではなくて、その地域へ人が集まるようなことの考えをということだと思いますし、その資産として市営球場があるのではないかというご質問だと思う。南側をすぐにどうこうするというお話は、職員の段階ではできなかつたと思う。先日雨で中止になったが、マンダリンパイレーツの野球の試合などもその一つだと思います。あと、公共交通としてのバス路線を昭和通りに走らせることで人の動きを見ていくということも一つの方法ですが、やはり、買い物に来るということでしたら、消費者に対してアピールするような取り組みも一緒に考えていけたらと思います。

課題名（自治会未加入者への対応について）

討議内容

○質問

最近、若水自治会において、自治会をやめる人が増えている。この原因は、自治会による未加入者への市政だより、ごみカレンダーの配布などを実施しており、未加入者であっても不便を感じていないところの一つの原因があるのではないかと考えている。また、若水自治会では福祉関係の募金も自治会でまとめて納入しており、未加入者には集められていないのではないかと考えている。

市連合自治会においても、自治会の加入促進を図るため委員会を設置し、対策を検討していると伺っている。また、聞くところによると、市職員の中にもマンション住まい等で、自治会に加入していない人がいるということであるが、市職員の自治会未加入者に対して、市はどのように対応するのか。

○回答者（市長）

このテーマで校区集会で話し合ったこともある。ご質問の趣旨は、市役所職員そのものことで、以前話し合ったときにも職員の加入率は80%ぐらいであるとお話をした。それ以後働きかけを行い、平成20年度では86%で加入率は上がってきている。入っていない職員の多いケースは、マンションで、マンションそのものの管理組合を構成して、共益費という形で支払っているという、そういう意識が大きい要素の一つであった。今、宅建協会などを通じて、管理者の方に自治会加入を呼びかけ、最初から共益費の中に自治会という設定をしている所もあるので、そういうことをしていただければ自治会への自動的な加入にもつながると考えており、そういう工夫もしていきますし、個々には呼びかけも行っていきたいと思っている。

3. 地域課題

課題名（ 河川敷の交通公園について ）

質疑応答

○質問

国領川河川敷の敷島橋の北側にある交通公園については、児童の交通知識や交通道徳を体得させるため設置され、大きな意義があったと思っている。ところが年月が過ぎるに従い、当初の利用目的が薄らぎ、利用されていない状況にあるのではないかと思う。昨年の校区集会では、河川敷の整備を行うとのことであったが、利用されない施設であるのなら、テニスコートや他の運動ができるグラウンドに造成替えることはできないのか。

課題名（ 若水つづら淵の整備について ）

○質問

若水のつづら淵は、平成20年6月に、平成の名水100選に認定され、新聞報道等もあり、あちらこちらから問い合わせがあります。また、遠方から車で水を汲みに来る方もおられ、来訪者は増加する状況にあります。しかしながら、市指定の史跡であるのに、自由に利用できる土地が無く、水を汲みに来る人の車は、スーパーマルナカの駐車場に無断で駐車をしている状況です。もし、マルナカに無関係ということで、駐車禁止にされた場合どうすればいいのでしょうか。平成13年に土地購入を要望したが、そのときは無理であるとの回答であったが、平成の名水100選にも認定され、今回再度要望したいと思うが、市として再考の余地はないのかお伺いしたい。

課題名（ 元塚橋付近の安全安心について ）

○質問

元塚橋付近では、過去に転落して亡くなるという痛ましい事故があった。

最近では、大きな魚も見られ、子供たちも学校帰り等に良く見ている光景を見かける。堤防についても、道路の地上げなどにより子供が身を乗り出せるほどの高さになっている。今のところ子供が転落するという事故はないが、万が一、子供が落ちた時などには助けに行くことができない。何かあっても橋の下に降りることができない。少し下（北）の方には階段があるが、安全・安心という観点から階段を設置することはできないか。

また、階段を設置したことにより、子供が下りて事故に遭うなどの新たな事故も考えられるため、そのことについても考慮した施設としていただきたい。

それと川の中央に、数年前からテントのシートのようなものが2箇所にある。重機が必要だと思うが撤去について検討していただきたい。その時には私たちも協力したいと思っているのでよろしくお伺いしたい。

課題名（ 若水町マック西側の水路について ）

○質問

マックの西側の入り口のところの水路については蓋をしていない。土地改良区の関係もあるのかもしれないが、以前車が落ち込んでいるのも見たことがあり、危険である。また、最近は道路上のごみなどを放り込んで、非常に汚い。年に1回程度は市で掃除をしていたように見えるが、少しの間に汚くなる。夜も危険なので、できるのであれば蓋をしてほしい。蓋を設置することにより車を置くなどの問題はあってもいいが、このままにしているのはいけないと思う。

○回答者（市長）

時間が迫っておりますので、要点を申し上げます。

1点目の河川敷の交通公園についてはご指摘のような状態で、こちらからの結論を出すのに多少時間がかかることもあるかもしれませんが、基本的には、ご要望いただいたように交通公園から違うものへ変更したいと思っている。これから、河川管理者である愛媛県と協議をして、まだこれを造るということは決めていないが、交通公園から違う用途のものへ変更していきたいと考えている。

2点目のつづら淵の整備については、名水100選に選ばれ、環境意識の高まりとともに関心も高まっています。これまでは、教育委員会からマルナカ若水店の方へ駐車場の使用についてご協力をお願いして、承諾をいただくという状況の中で対応させていただいている。今すぐ、その部分を買いますという話にはなりません、駐車場として継続して使えることの御配慮をお願いすることを続けていくということが基本です。

3点目の元塚橋付近の安心安全については、管理者の愛媛県においては、河川の管理という一番の基本の中で、管理上必要な場合には階段を作る。そもそもの想定の中には転落防止ということは入っていなかったという要素があると思います。しかし現実にはそういう事故も起こっておりますので、これから要望の趣旨を踏まえて、県の担当部局と協議をしていきたい。

4点目の若水町マック西側の水路についてのうち、下水管のことについては下水道建設課からの説明になりますが、基本は農業用水路は蓋をしないことになっており、ごみが詰まった時に蓋があると、ごみをとれない、とりにくいということがある。しかし、危険な場合に備えるという、両方の問題があるが、基本的には農業用水路には蓋をしないというのが基本です。皆さんには農業用水路なのか下水路なのか分からないことがあるかも知れませんが、基本はそういうことになっております。ただ、蓋ができなくても転落防止柵を設置するとか、そういうことで対応していくということはありますので、これからも、除草、浚渫等水路の維持管理を行っていききたいと思います。

○回答者（下水道建設課長）

先ほど質問のあった、尻無川のシートのことですが、護岸の排水ができていない所が部分的に残っているので、土を残すために固めたような形になっている所ではないかと思うが、それ以外であれば教えていただいて確認し対応を検討します。

それと推進員から話があり、若水周辺の排水がどこに行っているのか、こ存じない方もおられるということで図面を作ってきた。（図面により説明）

黄色で塗っている所が、菊本の処理場の手前に雨水のポンプ場がある。黄色の部分は全てそこに集まっている。尻無側より西側のは排水は、川の底を内径が2200ミリメートルのコンクリート管を通して、サイホン式により東側に流している。水色の部分については、港町のポンプ場へ行っている。この水色の部分、11.3ヘクタールの部分については、今もここで処理している。二つの系統で処理しています。

4 その他

○まとめ（市長）

どうもありがとうございました。今年は長期総合計画の御提言、地域課題等について、いろいろな方から御意見をいただいた。河川敷の整備のように進んでいるものと、進んでいない部分もありましたし、河川敷の進入路の問題とか全体計画の中で考えていかなければならないものもあったと思っています。まだまだ長期総合計画については議論を深めて固めていきたいと思っておりますので、いろいろな方面での御指導をお願いしたい。